

## 夏期セミナーの印象と当世学生気質

基礎教養科 岸 紅児

平成9年10月10日

今年も例年通り情報科学受講の学生を対象として6月～8月にかけて4回の夏期セミナーを行った。平成5年度より毎年開催するこのセミナーも回を重ねるにつれて参加者の数が増加して、今年は176名「表1・2参照」となった。

当初は学生達にコンピュータの社会活動の様子や役割を理解して貰うつもりで北九州市の製造業・金融業を中心に見学を重ねたが折からのバブル経済の崩壊という社会現象に遭遇して見学先の選定が製造業から非製造業・サービス業中心へと代わり、福岡市等へと足を延ばすことになった。

更に、女子学生の就職難への対応から業種・職種の時代別の変遷や就職分野開拓の意味もあって過年度卒業の先輩を訪ねて、職場環境や仕事ぶりを見学して、新職種（CAD・インストラクター等）の理解に勤めることも目的の一つとして数えることとした。

今年の訪問先は「表1」Aコース6/5（木）、Bコース7/12（土）、Cコース8/4（月）、Dコース8/6（水）といづれも学校の休日を当てて全員がどれかのコースに参加できるように勤めた。このため、情報科学2、受講生（2年生170名）の95%162名の参加とCADコースの1年生5名と4大生9名引率教職員延べ14名を加えて延べ190名の参加となった。

コース別の印象や特記事項を述べれば次の通り。「表2の見学先の印象・感想のまとめ参照」

記

Aコース 6月5日（北九州市 JICA 安川電機製作所 北九州テクノセンター）

今回始めて訪問した「JICA国際協力事業団」は名前の通り、外務省の東南アジアに対する技術と資金の援助事業として北九州市八幡東区に研修センターと宿舎があり、百数十名の研修生が学んでおり、特に北九州市の公害防止・環境保護と機械制御・IC半導体技術の研修が行われていた。館内は殆ど、英語の他、中国語・ヒリピン・インドネシア等の東アジア地域の言葉で授業が行われており、館長の国際協力事業の説明の中に、幾度も「ボランティア精神」や「後進国への援助・協力活動」という言葉が印象的だった。

綺麗な教室や実習室・宿泊設備はビジネスホテル並の設備であり、中でも昼食をさせて貰った館内レストランは600円でデザート付きのコース料理に学生達の感嘆の声があがった。

JICAの次はJRで黒崎まで移動して、「安川電機製作所」の「ロボットセンター」を見学した。「ロボットセンター」では、ロボットの起源から発達改良の今日までの説明と社会環境の変遷とロボットの進歩発展の歴史説明があり、ロボット館（ショールーム）を見学した。この時の案内者は梅光4大卒業の篠原先輩が祇園太鼓・看護婦・食品加工缶詰・カメラマン・受付案内人等各種のロボットや、ロボットによる写真撮影実演等のロボットの活躍ぶりを丁寧に説明してくれた。

午後3時過ぎに再びJRで「九工大前」に移動して、「北九州テクノセンター」を訪問して中小企業の技術指導を中心とするセンターの役割説明に退屈した学生達は1階の「インターネットコーナー」のパソコン実習で国内・国外の情報を瞬時に検索できるインターネットや遠くの相手に手紙を瞬時に送れる電子メールの実習に目を輝かせて5時半までパソコン通信の醍醐味を体験した。

当日は3カ所の見学にJRによる移動が3回あって相当疲労したようだった。

Bコース 7月12日（北九州市小倉北区 東陶機器 情報センター・ショールーム・衛生陶器工場）

午前10時「東陶機器研修センター」の2階でOAパソコンによる電子メール・インターネット・イントラネット・システムキッチンCAD作図システムの見学説明と実習をした。此処でもCAD製図とプログラマーに梅光短大の先輩が居て仕事に励んでいた。

見学は、全員をABCの3班に分けて、OAシステム電子メールシステム見学、システムキッチンのCAD製図見学、インターネット・イントラネット体験としてノートパソコンによる各社のホームページ検索実習、の3コースを各班毎に交互に体験した。

12時過ぎに社員食堂（定食料金500円）にて昼食の後、ショールームのシステムキッチンやトイレ・バスルーム・シャワーセット等の水廻り製品の機能や使い勝手を体験の上、午後1時過ぎより第1工場に移動してコンピュータ制御による衛生陶器の製造工程を見学した。粘土水を型に入れて成形し、乾燥・上薬掛・焼成等の行程を殆どコンピュータ制御によって生産するシステムを3時前まで見学した。現代の製造工業の雰囲気とロボットや電子メール等の情報機器の連動が理解できたことや、工場の整頓・清潔感などが印象深かった。また、ショールームでは高齢化時代を迎える水廻り機器、浴槽・トイレ・キッチン・洗面化粧台等の高齢者や身障者に優しい商品が手で触れて扱えるディスプレイに感心した。

Cコース 8月4日 （北九州市 小倉北区NTT北九アイランド 戸畑区ゼンリン 北九州テクノセンター）

午前9時半、NTT北九州アイランドMulti Media Center実習室にてパソコン通信とインターネットの体験実習を行った。このセンターはNTTのマルチメディア事業のPRセンターとして今年設けられ、企業や一般市民を対象にしてEメール（電子メール）やインターネットの接続の仕方や情報検索の方法をPRするため、12台のマルチメディアパソコンがLAN接続されており、いろいろなパソコン・リテラシーを体験できる。

当日、予備の機械3台を含めた15台に2人ずつ対応して、パソコン通信・インターネットの役割や使い方を教わり、インターネットホームページを探すネットサーフィンを経験した。

熱心に実習して12時、次の見学先「九工大前」へJRにて移動した。

（後日、このセンターでパソコンクラブの部員達にホームページ作成コー

スをお願いして9/24・26の2日間30名参加してホームページ作りの実習をした)

午後1時、九工大前の(株)ゼンリン「電子地図開発センター」にて「カーナビ」と呼ばれるカーナビゲーションシステムについて説明を受けた。カーナビは電子地図情報ともいわれて自動車の進行道案内をするため、GPS通信衛星から受信した位置情報を電子地図上にて確認し、目的地までの道路情報を車内のTV画面に表示し、更に運転者の安全のため音声にて交通案内をするシステムとなって提供されている。開発センターの大画面TVに表示されるカーナビ実画面に住所や電話番号で電子地図を検索し、音声で道案内のできる最新のカーナビのソフトを体験した。その後、ソフト開発している開発センター館内を見学した。4階建ての最新建築・照明やカラー感覚溢れるこの職場にも梅光短大の先輩が受付にて案内をしてくれた。

午後3時半隣の「北九州テクノセンター」に移動して、前回不評だったセンターの役割概要説明は省略して館内説明ビデオ見学後、直ちに1階のインターネット体験コーナーに移動して、6台のパソコンに分かれて5時前までホームページの検索や企業の就職情報の探索をして時間一杯過ごした。此処のパソコンは6台全て別々のメーカーで構成されておりながら使いがては違和感無く学生達は興味を持って実習していた。

ここにも梅光4大卒業の中山さんがいてホームページ探索の指導をしてくれた。

Dコース 8月6日 (福岡市 富士通R&Dセンター RKB毎日放送局  
西日本新聞社 富士通OA機器 日本IBM TOTOエンジニアリング)

8時半、JR小倉駅前北九州観光バス2台に分乗して10時半福岡市百地浜の「富士通R&Dリサーチ アンドディベロップセンター」に到着、マルチメディア時代のパソコンの特徴、画像処理や「CG」コンピュータグラフィックス、音声処理などの機能説明を受けた後、館内のパソコンソフト「平家物語」「宮沢 賢治・銀河鉄道の夜」「筑紫香廬館」等の数々のソフトを見学して画像処理の面白さを体験した。

11時半隣のRKB放送センターに入り、「ももピー」の出迎えを受けたが到着時間遅れのためTV生放送に間に合わなかった。ラジオとテレビの

スタジオ見学の後、最上階の会議室で山本局長より「放送視聴率とTVコマーシャル」の話聞く、放送というメディアのコマーシャルの裏話に学生達の興味を呼んだようだった。

12時半、博多埠頭の「海遊島レストラン」で昼食（料金千円）献立内容と料金の不均衡に学生達の不満爆発。（後日、旅程をセットした旅行社に抗議する）

午後は2時前西日本新聞社へ移動。

（この間1年生のCAD組は清末先生の引率で博多区大名の「TOTOエンジニアリング」へ移動してTOTOシステムキッチンのカAD作画製図現場を見学して4時頃博多駅前の日本IBMに合流する）

「西日本新聞社」ではコンピュータシステムによる新聞記事の編集・写真製版、特にカラー写真・紙面印刷技術に学生の興味が集中し、感嘆の声が上がっていた。新聞編集製版の説明の後、輪転機印刷の現場を見学し轟音のなか高速度での印刷のスピードと紙のボリュームに驚嘆し、見学後印刷された夕刊を1部づつ貰った。

新聞社見学後は受入先のスペースの都合で1号車は博多駅前の日本IBMへ、2号車は富士通OA機器へ別れた。

1号車組は「日本IBM福岡」にてパソコンソフトの説明を中心に説明が行われた、イントラネット・ロータスノーツによる企業情報の管理方式の便利性が強調され、最近パソコンにて利用の始まった音声入力システムのデモ版の説明はこれからの理想的なヒューマンインターフェイスとして学生達の共感と喝采を浴びていた。

2号車組の「富士通OA機器」ではインターネットの環境やホームページのデザイン等、通信ネットワークを中心にした説明が行われ、鮮明なOHPスクリーンによってマルチメディアの美しさと情報処理能力のすばらしさを体験できた。

双方とも5時半前後に博多駅前を発車し高速道路を経由して6時半前後に小倉駅前に戻り解散した。

今回の見学ツアーは貸切バスを使用したため移動は楽にできた反面、集合や時間調整に苦労した。

8時半の集合時間に多数の遅刻者があり、いずれも携帯電話で遅刻を知ら

せてくるので30分出発を延期して遅刻者を待ち合わせたため、福岡への到着が遅れてRKB放送局の生放送番組への参加ができなかった。また、学生達から「1日に4カ所を見学するのは疲れる」との意見があった。

\* 学生達の夏期セミナーに対する意見の集約

各コース毎の見学終了後、全員に感想を今後の参考にしたいと考えてレポートとして提出して貰った。「表の2」に見学先の印象・感想のまとめとして各コースの意見集約を参照。

全体としての印象のまとめは次のとおり。

1. 企業や業種、特に新聞社・放送局・国際協力事業等への関心が高かった。中でもコンピュータ・パソコンの企業社会における活躍や利用の普及ぶりに感嘆していた。
2. 見学内容については インターネットやパソコン通信への興味と関心が高かった。その他、オフィス環境・企業イメージ・騒音や照明・環境対応等に対する意見や批判が見受けられた。  
特に先輩達のマナーや親切・心配りなどについて関心が高かった。
3. 4コースの内3カ所で昼食をレストラン・社員食堂等で（Cコースのみ場所の都合で弁当持参）それぞれ有料ですませた結果、批評が分かれた。A・Bコースは環境・料金共に好評だったがDコースは料金に対して内容の粗末・割高感の批判が多かった。
4. 疲労感についてはJRの乗り換えの多かったAコースと4カ所見学したDコースに疲労を訴える意見があった。
5. 参加学生の服装や態度について。

見学先の関係から集合場所が北九州市・八幡駅前・小倉駅前であった関係か遅刻が目立った。特に、Dコースは貸切バスを小倉駅北口乗車で高速道路経由であったため集合が遅れ、出発が30分ずれ込んだ。そのため、RKB毎日放送局のTV公開番組「ももピー」の生放送に間に合わず遅刻して広告代理店（九広）の担当者に迷惑を掛けた。

（今回の報道関係テレビ局・新聞社の見学申込は全て「株」九広にお願いして実現した）

学生の服装の大半はきちんとした服装であったが最近の流行なのか履き物の不揃いが目立った。サンダル状の底の厚い草履みたいなもの、

アムロブーツのような編み上げシューズ類等。

今回、学生達のコミュニケーションの道具として目立ったのは「携帯電話・PHS」の普及ぶりである。従来「ポケベル」が主役だったが、今日では携帯電話に変わっている。

集合の待ち合わせ中、携帯電話でのやり取りが目立った。特に、貸切バスの中は電話応対が激しく、時にはガイドの声も聞こえないほどだった。

コンピュータや通信機器の発達には世の中の進歩発展をもたらす反面、公衆社会でのルールやマナーについて考えさせられた。

その他の意見として印象に残るものとして、安川電機の見学の時、ロボットの活躍ぶりに対して学生の父親が北九州で熟練技術者としての地位を奪われる危機感の訴えや、西日本新聞社での新聞印刷工程の中でその速さに驚く反面、大量の紙資源が消費される地球環境の危機感を訴える意見が幾つか目立った。

#### \*夏期セミナー参加者と見学先の分析

今回は6/5・7/12・8/4・8/6の4日(4回)訪問企業数にして12企業、学生の実参加数は176名(短大生167名、四大生9名)次頁の表とグラフ参照。学生の提出したレポートから見学先企業の業種や見学内容を次のように分類してみた。

##### A. 国際協力事業・ボランティア活動

JICA国際協力事業団に興味を寄せていた学生は39名(41%)であった。

##### B. コンピュータ・自動制御・ロボット関係

安川電機・TOTO機器・西日本新聞社の見学で自動制御やロボットに興味や感動を寄せていた学生は151名(86%)であった。

##### C. 電子メール・インターネット通信関係

北九州テクノセンター・TOTO機器・NTTマルチメディアセンター・富士通OA機器・IBM福岡の見学・実習で情報通信・情報検索能力に感嘆と関心を示した学生は167名(95%)の多数を占めた。

##### D. マルチメディア・CAD・画像処理関係

NTTマルチメディアセンター・ゼンリンカーナビゲーション・百地

夏期セミナーの印象と当世学生気質

富士通R&Dセンター・富士通OA機器・IBM福岡TOTOエンジニアリングの見学・実習によってパソコンの写真・画像処理能力に関心を持った学生は158名(90%)にのぼった。

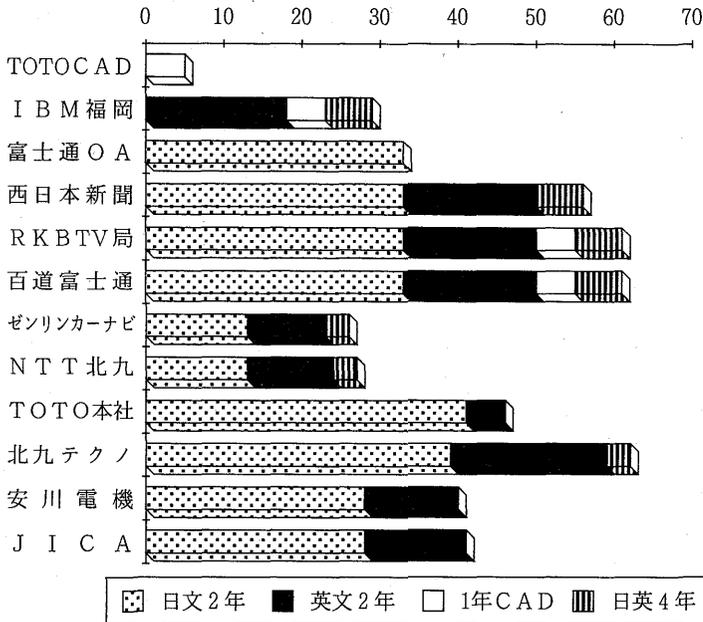
E. 報道「新聞社・テレビ局」関係

RKB放送局・西日本新聞社の事業内容に報道やコマーシャルの威力に感動と関心を持った学生は122名(69%)であった。

平成9年夏期セミナー見学企業別学生参加者一覧表単位 人

見学先	短期大学	短期大学	短期大学	4年大学	見学者	見学日時
	日文2年	英文2年	1年CAD	日英4年	合計	
JICA	28	13			41	6/5 AM
安川電機	28	12			40	6/5 PM
北九テクノ	39	20		3	62	6/5 8/4 PM
TOTO	41	5			46	7/12 AMPM
NTT北九	13	11		3	27	8/4 AM
ゼンリンカーナビ	13	10		3	26	8/4 PM
百道富士通	33	17	5	6	61	8/6 PM
RKRTV局	33	17	5	6	61	8/6 AM
西日本新聞	33	17		6	56	8/6 PM
富士通OA	33				33	8/6 PM
IBM福岡		18	5	6	29	8/6 PM
TOTOCAD			5		5	8/6 PM
訪問人数計	294	140	20	33	487	
参加者計	115	47	5	9	176	

夏期セミナーの印象と当世学生気質



\*結び・・・・・・夏期セミナーの実施結果についての反省

情報科学の講義を担当して一番困るのが教科書と教材で、市販されている教科書はほぼ1年経つと内容が不適切となるので常にハードとソフトの動向に注意してカリキュラムや教材に変更や追加しないと現実と離れてしまうことになる。

また、学内の設備や機器だけでは対応できない現実面からどうしても実社会の動向をウォッチさせるためにも企業見学の必要性を考えて今日まで毎年夏期セミナーを開催してきた。

今回の見学内容で一番関心の高かったのは前記の表からインターネット・電子メールのような通信関係、次がマルチメディア・画像処理・CAD関係、3番目に自動制御・コンピュータ・ロボットの順であった。そして始めていった国際協力事業の「JICA」は日本の現状を認識するよい機会として強い印象を受けた。来年度も国際協力などの視野を広げたいと考え

この種の見学を継続したいものである。

今回、ほぼ全員の感想意見を聞き、(欠席者10名には情報科学2受講の動機や理由についての記述レポートを提出して貰った) 目標に対する効果を把握することができてこれからも時代の要請にあった夏期セミナーを続けていきたいと考えている。

表1 平成9年 夏期セミナー結果報告

1. 目的 現代社会にて必修のパソコンを通じて現代ビジネスの現場を見学すると共に先輩方の仕事場を見て、進路選択の参考にする。

2. 対象者 短大、情報科学受講の2年生

(日本文学科 115名・英米文学科 47名) 162名

CADコース受講の1年生 5名

四大、情報科学受講の3年生 9名

参加者合計 .....176名

3. コース別内訳

	日 時 集 合 場 所 集 合 時 間	午前中の訪問先 見学内容・テーマ 見 学 時 間	午後の訪問先 見学内容・テーマ 見 学 時 間	参加者 人数		
				短大	四大	引 合 計 卒
A コ ー ス	6月5日(木) JR利用にて移動JR八幡駅 * AM:10:00 PM5.30現地解散	JICA国際協力事業団 国際協力事業の実体見学 10時～13時 昼食=12:00～12:30 J I C A	安川電機本社ロボットセンター メーカーとロボットの見学 13時半～3時 北九州テクノセンター インターネットの体験 3時半～5時頃	41	4	45
B コ ー ス	7月12日(土) 市内バス利用にて移動JR小倉 駅南口 * AM:9:30 PM2.30現地解散	東陶機器(情報システム本部) 電子メール・CAD見学 10時～12時 昼食=12:00～12:30 東陶社員クラブ	TOTOショールーム 水廻りの商品の見学 1時～1時半 衛生陶器生産工場見学 コンピュータとロボットによる衛生産 1時半～2時半頃	46	2	48
C コ ー ス	8月4日(月) 徒歩・JR利用にて移動JR小倉 駅南口 * AM:9:00 PM5.00現地解散	NTT北九州マルチメディアセンタ インターネット通信の体験 9時半～11時半 昼食=12:30～13:30 テクノセンタ会議室	株式会社ゼンリン カーナビゲーションの見学 2時～3時半 北九州テクノセンター インターネットの体験 3時半～5時頃	24	3	30
D コ ー ス	8月6日(水) 北九州観光貸切バス2台JR小倉 駅北口 * AM:8:30乗車 全行程貸切バス PM6.30小倉解散	富士通株式会社 R&Dセンター 北道ソフトウェア・マルチメディア 10時半～11時過 RKBテレビ放送局 TV視聴率・局内見学 11時半～12時半 昼食=ベイサイド海遊島	* 西日本新聞社印刷センタ 新聞の編集制作発行の見学 2時～3時頃 IBM・富士通マルチメディアセンタ ネットワーク通信・インターネットの見学 3時半～5時頃 * =CADグループTOTOエンジニアリング	56	6	67
引率教職 岸・青木・清末・焼山・宮野・山田・石川 延14名 合 計				167	9	14 190

表2 夏期セミナー参加レポートのまとめ (単位 人)

参加対象者		コース別参加人数						
科	クラス	Aコース	Bコース	Cコース	Dコース	参加者計	欠席	合計
日本文学科	2A	10	5	5	5	25	2	27
	2B	3	12	3	6	24	2	26
	2C	6	11	5	9	31	0	31
	2D	9	13	0	13	35	1	36
	計	28	41	13	33	115	5	120
英米文学科	2A	2	2	0	1	5	1	6
	2B	2	0	6	3	11	2	13
	2C	3	0	5	6	14	1	15
	2D	3	2	0	2	7	0	(1)6
	2E	3	1	0	6	10	0	10
計	13	5	11	18	47	4	50	
CAD 1年					5	5	1	出席率
短大生計		41	46	24	56	167	10	94%
四大生計 引率 職員計 合計		(コース別参加数 C=3 D=6)				9		
		(コース別参加数 A=4 B=2 C=3 D=5)				14		
						190		

2コース/1名

見学先の印象・感想のまとめ

(複数回答)

Aコース 6月5日(木)

- JICA=国際協力事業への興味...27
- 設備食事の配慮賛辞 .....6
- 安川電機=ロボット技術興味感嘆...19
- 北九州テクノセンタ=インターネットへの興味...26
- 事業説明時間の不評 .....6
- Aコース全体の評判 徒歩による疲労 .....6

Cコース 8月4日(月)

- N T T=インターネット実習・体験 ...11
- ホームページ通信機能 ...6
- ゼンリン=カーナビゲーション機能の進歩...16
- オフィス環境の整備 .....9
- 北九州テクノセンター=インターネット実習...15

Bコース(東陶機器) 7月12日(土)

- 企業環境社風好感度.....11
- 製品イメージ商品の意外性...16
- 高齢化社会対応商品の興味...8
- OAインターネットCAD...23
- ショールーム印象 .....6
- 社内・食堂の清潔感 .....4
- 製造工場の自動化雰囲気への  
驚異と職場環境の配慮 .....5

Dコース 8月6日(水)

- 富士通R&D=CD-ROM・CGソフト...17
- RKB放送局=テレビ視聴率調査...11
- 放送施設見学時間不足...4
- 西日本新聞社=新聞編集制作技術...23
- 新聞紙量の環境影響...3
- 富士通OA=パソコンソフト教材...13
- IBMシステム=音声入力技術ソフト力...18
- Dコース全体の評判=昼食内容の不满...4
- 1日の見学先が多く疲労...3

以上